

## 第 28 回地方独立行政法人神戸市民病院機構評価委員会

### 欠席委員の意見

- ・市民病院機構に新たに移管されることになった西神戸医療センターについては、地域医療支援病院やがん診療連携拠点病院の指定を受け、逆紹介率 126.2%という割合を見ても地域の中核病院として病病連携、病診連携がしっかりと行われていると感じます。また数少ない結核病床を持つ病院としても、貴重な存在であると思います。
- ・今年から地域医療構想が始まっているということを受け、次回の目標や計画は、5年後、10年後の人口動態やそれに伴う医療需要の変化などを踏まえて、より具体的に策定する必要があると考えます。
- ・西神戸医療センターの移管を受けて、中期目標で「結核・感染症」を一つにまとめ、災害医療と分けたことで計画もより明確に示せるものと考えます。
- ・後期研修医を「専攻医」と表現を変えることに異論はございませんが、その理由として患者からの苦情の中に「研修医に手術をさせるのか」といった内容があるためというのも一つと伺いました。研修医であっても、国家資格を得て医療行為を行える立場なのですから、そこは患者側の理解を得るための説明の努力を正面からすべきではないかと思えます。また、初期研修医は何をどこまですることになっていて、指導体制はどうなっているのか、専攻医とはどのような立場で、何を目指しているのかなど、患者側の理解を得られるように積極的に伝える前向きな姿勢がむしろ必要ではないかと思えます。